



平成31年2月1日

各 位

会社名 沖 電 気 工 業 株 式 会 社
代表者名 代表取締役社長執行役員 鎌上信也
コード番号 6 7 0 3 東 証 第 1 部
問合せ先 I R 室 長 山 内 篤
電話番号 0 3 - 3 5 0 1 - 3 8 3 6

連結子会社の合併に伴う商号変更に関するお知らせ

当社子会社である沖ウィンテック株式会社（以下 OK I ウィンテック）は、株式会社沖電気カスタマアドテック（以下 OK I カスタマアドテック）との合併（以下 本合併）に伴い、存続会社であるOK I ウィンテックの商号を変更することを、本日の取締役会で決定しましたのでお知らせいたします。

なお、本合併は当社子会社間の合併であるため、開示事項・内容を一部省略して開示しています。

記

1. 合併および商号変更の目的

エンジニアリング会社として音声ネットワークの施工・保守、電気工事、社会インフラ工事など長年にわたる実績があるOK I ウィンテックと、ATMや金融システム、サーバーなどのハイ・アベイラビリティ（高可用性）を必要とする機器の保守・運用において豊富な実績を持つOK I カスタマアドテックを合併します。今後持続的な成長を実現する上で、リカーリング型ビジネスを強化すべく、サービス・ソリューションの実働に強みを持つ新会社を設立し、商号の変更をいたします。

2. 合併および商号変更の要旨

(1) 日程

合併決議取締役会・合併契約締結（当事会社）	2018年10月31日
合併承認株主総会（当事会社）	2018年11月8日
合併期日（効力発生日）	2019年4月1日（予定）

(2) 合併の方式

OK I ウィンテックを存続会社とし、OK I カスタマアドテックを吸収合併します。

(3) 合併に係る割当ての内容

本合併は、当社100%子会社間での吸収合併となりますので、新株式の発行、資本金の増加および合併交付金の支払いはありません。

(4) 存続会社の商号変更

本合併期日（効力発生日）をもって、存続会社の商号を「OK I クロステック株式会社」（新商号）に変更する予定です。

(5) 消滅会社の新株予約権および新株予約権付社債に関する取扱い

該当事項はありません。

(6) 存続会社が承継する権利義務

存続会社は、消滅会社の資産および負債、契約上の地位等の権利義務（当社の借入や社債に係る連帯保証契約を含む）を、合併契約書に従い承継します。

3. 会社合併当事会社の概要

(1) 商号	沖ウィンテック株式会社 (存続会社)	株式会社沖電気カスタマードテック (消滅会社)
(2) 所在地	東京都品川区北品川1丁目19番4号	東京都江東区木場2丁目7番23号
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 畠山 俊也	代表取締役社長 毛利 誠二
(4) 事業内容	電気・エネルギー設備工事、企業向け情報通信システムの販売、交通関連システムの販売	情報処理、通信、制御、計測、放送、医療に関する機器・システムの修理、保守、工事、遠隔監視、運用管理、製造、販売およびソフトウェアの製造、販売
(5) 資本金 (平成30年3月31日現在)	2,001百万円	1,800百万円
(6) 設立年月日	昭和35年5月2日	平成4年8月31日
(7) 発行済株式数 (平成30年3月31日現在)	12,053,270株	130,000株
(8) 大株主および持株比率 (平成30年3月31日現在)	沖電気工業株式会社 100%	沖電気工業株式会社 100%
(9) 決算期	3月31日	3月31日
(10) 直前事業年度の財政状態及び経営成績 (平成30年3月期)		
純資産	9,149百万円	4,768百万円
総資産	19,217百万円	21,088百万円
1株当たり純資産	759.08円	36,681.73円
売上高	25,454百万円	48,349百万円
営業利益	462百万円	961百万円
経常利益	1,144百万円	1,012百万円
親会社株式に帰属する当期純利益	1,019百万円	323百万円
1株当たり当期純利益	84.54円	2,489.22円

4. 合併後の状況

(1) 商号	OKIクロステック株式会社
(2) 所在地	東京都品川区北品川1丁目19番4号
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 竹内 敏尚
(4) 事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ICTインフラの設計構築、設置工事、運用保守サービス、ならびにトータルサービス 電気設備、消防施設、電気通信設備の設計・施工・監理・保守 ハードウェア、ソフトウェア、サービスなどの販売
(5) 資本金	2,001百万円
(6) 決算期	3月31日
(7) 大株主および持株比率	沖電気工業株式会社 100%

5. 合併による業績への影響の見通し

本合併は、連結子会社間の合併であるため、当社の連結業績に与える影響は軽微であります。

以上